



# リリースノート

## SANtricity 11.7

NetApp  
February 12, 2024

# 目次

リリースノート .....	1
SANtricity OS 11.7の新機能 .....	1
リリースノート .....	5

# リリースノート

## SANtricity OS 11.7の新機能

次の表は、SANtricity System Manager 11.7の新機能について説明しています。

### バージョン11.75の新機能

システムを11.80.x以降にアップグレードするには、11.70.5が実行されている必要があります。

### バージョン11.74の新機能

新機能	説明
FIPS 140-3をサポート	SASベースとNVMeベースの両方のSSDについて、特定のドライブでFIPS 140-3がサポートされるようになりました。FIPS 140-3レベルのSSDドライブは、すべてNVMeベースまたはすべてSASベースのドライブであれば、FIPS 140-2レベルのSSDドライブと共存できます。これらのレベルをボリュームグループとディスクプールで組み合わせる場合は、グループまたはプールが下位レベルのセキュリティ（140-2）で動作することに注意してください。
MFAとSSHのサポート	SANtricity バージョン11.74以降では、リモートログイン機能を使用して、SSHキーやSSHパスワードの入力をユーザに求めることで多要素認証（MFA）を設定できます。ハードウェアセクションのメニューオプションが*リモートログインの変更*から*リモートログインの設定（SSH）*に変更されました。
アクセストークン	このリリースには、アクセストークンを作成するための新機能が含まれています。これらのトークンを使用すると、ユーザ名やパスワードを公開することなく、REST APIまたはコマンドラインインターフェイス（CLI）で認証できます。この機能は、アクセス管理セクションで提供されています。

### バージョン11.73の新機能

新機能	説明
リソースプロビジョニングとDULBEのサポート	このリリースでは、リソースプロビジョニング機能とDULBEドライブ機能が完全にサポートされるようになりました。このサポートには、リソースでプロビジョニングされたボリュームでホストからのUNMAPをより幅広く使用できるようにすることも含まれています。

新機能	説明
EF600 SAS (512e) の拡張	このリリースでは、EF600ストレージシステム用にSAS-3エンクロージャへの拡張がサポートされます。この拡張では、4KiB ブロックのNVMe SSD と 512e SAS SSD および HDD を共存させることができます。ただし、ブロックサイズが異なるドライブは、同じプールまたはボリュームグループに設定することはできません。
qlc SSDのサポート	このリリースでは、現在の世代のQLC SSDで、ドライブファームウェアでONTAP 機能が設定されていますが、Eシリーズ固有の全機能セットはサポートされていません。qlcドライブ (NVMeのみ) は低コストですが、書き込みパフォーマンスは低く、耐久性は低く、書き込みの多いワークロードには使用しないでください。
TLS 1.3のサポート	TLS 1.3の組み込み管理機能がサポートされるようになりました。この機能は、環境 System Managerと組み込みのWebサービスを有効または無効にする機能によってサポートされます。(TLS 1.3のサポートは、Web Services ProxyとUnified Managerの以前のリリースで追加されています)。
RAID 1 DDPは最低8ドライブ	このリリースでは、プール内に少なくとも11本のSSDがRAID 1 DDPに必要ありません。この最小構成では、プールにRAID 1ボリュームしか作成されていない場合、8ドライブのSSDプールが許可されるようになりました。
EKMSキーの削除	ストレージ管理者は、古いキーを削除するために外部キー管理サーバ (EKMS) を要求できるようになりました。キーの削除は、設置されているドライブに新しいキーが追加されたあとのキーの再入力プロセスでのみ実行されます。

## バージョン 11.72 の新機能

新機能	説明
SNMPv3ノサホオト	SNMPv3がアラート通知にサポートされるようになりました。メニューで設定できます：[Settings][Alerts]。SNMPv3 は、強力な認証とデータ暗号化によってセキュリティを提供します。
複数のキーサーバへのキーのレプリケートをサポートする	自己暗号化ドライブの外部キー管理の場合、外部キー管理の作成ダイアログに複数のキーサーバを追加するための新しいオプションが追加されました。
ブラウザのバージョンを更新	System Manager のブラウザの最小バージョンが更新されました。

## バージョン11.71の新機能

新機能	説明
EF300 拡張	このリリースでは、EF300 ストレージシステムの SAS-3 エンクロージャへの拡張がサポートされます。この拡張では、4KiB ブロックの NVMe SSD と 512e SAS SSD および HDD を共存させることができます。ただし、ブロックサイズが異なるドライブは、同じプールまたはボリュームグループに設定することはできません。
iSCSI 設定の fec モードオプション	25GB iSCSI ホストインターフェイスカードを使用するストレージアレイでは、iSCSI ポートを設定するときに前方誤り訂正 (FEC) モードを設定するための新しいオプションが追加されました。
リモートストレージボリューム	オプションの Remote Storage Volumes 機能を使用すると、リモートストレージシステムからローカルの E - iSCSI 接続を使用するシリーズ・ストレージ・システムリモートストレージには、iSCSI でアクセス可能であれば、E シリーズシステムと同じブランドを使用することも、別のストレージベンダーのストレージを使用することもできます。
FDE 以外のドライブに追加された完全消去 (消去) 機能	ドライブ完全消去機能に FDE 以外手順のドライブが含まれるようになりました。ハードウェアページからドライブのコンテキストメニューを開いて「消去」を選択できます (以前は「Secure Erase」でした)。
E メールアラート用のセキュアな接続	暗号化された E メール通知を有効にするために、必要に応じて送信 E メール (アラート、ASUP ディスパッチ) で認証クレデンシャルを指定できます。暗号化タイプには SMTPS および STARTTLS があります。
AutoSupport の追加	AutoSupport が有効になっていない場合、通知領域にアラートが表示されるようになりました。
syslog アラートの形式が変更されました	syslog アラートの形式で RFC 5424 がサポートされるようになりました。

## バージョン11.70の新機能

新機能	説明
新しいストレージシステムモデル - EF300	このリリースでは、低コストのオール NVMe フラッシュストレージシステム EF300 が導入されました。EF300 には、NVMe SSD ドライブ × 24、コントローラごとにホストインターフェイスカード (HIC) × 1 が搭載されています。サポートされる NVMe over Fabrics ホストインターフェイスには、NVMe over IB、NVMe over RoCE、NVMe over FC があります。サポートされる SCSI インターフェイスには、FC、IB over iSER、IB over SRP があります。複数の EF300 ストレージシステムやその他の E シリーズストレージシステムを Unified Manager で表示して管理することができます。

新機能	説明
新しいリソースプロビジョニング機能（EF300 および EF600 のみ）	リソースプロビジョニング機能は、EF300 および EF600 ストレージシステムで新たに導入されました。バックグラウンドの初期化プロセスを実行せずに、リソースでプロビジョニングしたボリュームをすぐに使用できます。
512e ブロックサイズの追加オプション（EF300 および EF600 のみ）	EF300 および EF600 ストレージシステムでは、ボリュームを設定して 512 バイトまたは 4KiB のブロックサイズをサポートすることができます。512e 機能が追加され、iSCSI ホストインターフェイスと VMware OS がサポートされるようになりました。可能であれば、System Manager は、適切なデフォルト値を示しています。
AutoSupport ディスパッチをオンデマンドで送信するための新しいオプションです	新しい Send AutoSupport Dispatch 機能を使用すると、スケジュールされたディスパッチを待たずにテクニカルサポートにデータを送信できます。このオプションは、サポートセンターの [ サポート（AutoSupport） ] タブで使用できます。
外部キー管理サーバの機能拡張	外部キー管理サーバに接続するための機能拡張は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• バックアップ・キーを作成する機能を省略します。</li> <li>• クライアント証明書とサーバ証明書に加えて、キー管理サーバの中間証明書を選択します。</li> </ul>
証明書の機能拡張	このリリースでは、OpenSSLなどの外部ツールを使用して証明書署名要求（CSR）を生成できます。また、署名済み証明書と一緒に秘密鍵ファイルをインポートする必要があります。
ボリュームグループの新しいオフライン初期化機能が追加されました	ボリュームの作成については、System Manager でホストの割り当て手順をスキップする方法を使用して、新しく作成したボリュームをオフラインにすることができます。この機能は、SASドライブ上のRAIDボリュームグループにのみ該当します（動的ディスクプールや、EF300およびEF600ストレージシステムに含まれるNVMe SSDには該当しません）。この機能は、バックグラウンドで初期化を実行するのではなく、使用量が開始された時点でボリュームをフルパフォーマンスにする必要があるワークロードに対して利用されます。
構成データの収集機能が新しく追加されました	この新機能は、ボリュームグループとディスクプールのすべてのデータを含むRAID構成データをコントローラから保存します（CLIコマンド <code>save storageArray dbmDatabase</code> ）。この機能は、テクニカルサポートを支援するために追加され、サポートセンターの診断タブにあります。
12 ドライブケースのディスクプールのデフォルトの予約済み容量を変更	以前は、2本のドライブに対応できる十分な予約済み（スペア）容量を備えた12ドライブのディスクプールが作成されていました。単一ドライブ障害に対応するようにデフォルトが変更され、よりコスト効率の高い小規模プールのデフォルトが提供されるようになりました。

## リリースノート

このサイトにはリリースノートがありません。NetApp Support Siteのクレデンシャルでログインするように求められます。

- ["11.70 リリースノート"](#)
- ["11.60リリースノート"](#)
- ["11.50リリースノート"](#)

## 著作権に関する情報

Copyright © 2024 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。